

欲求不満な人妻ボディ
独占解禁!

武装系各種強化パ-

淫乱妻リン子さん♪

イオリ・リン子

成年向
FOR ADULT ONLY



2014. 04. 29

ろしまん

KAZUMA マサ見

<http://roshiman.sakura.ne.jp>

印刷所

スズトウシャドウ様

本書には性描写が含まれております
18歳未満の方の購入、観覧を禁止しています

ガンブラビルダーとして製作に励む息子に
何か力になれないかと尋ねたら
おっぱいを触らせてほしいといわれました。

予想外の答えに戸惑った私をよそに
セイは私の胸に掴みかかり
まだ子供だと思っていました
その手つきはいやらしく
指は乳輪をなぞるように動き…
勃起した乳首をコリコリと責めてきます。

気付けばスポンも脱がされ
その行為はエスカレートしてきました

ん…セイったら…
どこでこんな事を
覚えて…あんっ♥
もう、悪い子ね…

おっぱい♥

クニクニ

むんむん

セイの要求に応え続けてきた私は
今日はエプロン一枚でいることを強要されました。

毎日おっぱいを弄られ続け大きくなった
乳首をさらに執拗に責められます。

あんっ

あっ♡

乳首大きくなったのは
僕のせいだって？
いつもこれでオナニー
してるのは誰かなあ

キゅんっ

キゅんっ

ビクッ
ビクッ
ビクッ

息子のセイとの関係がエスカレートしはじめ
さらに大きく一線を越えてしまいました。
毎日のように胸を揉まれ続け火照った身体を
オナニーだけで鎮めるには限界がありました。

まだまだ子供だと思っていたセイのあそこは
大きく膨張しており、私は下品に音を立てながら
しゃぶりつきました。

セイが私を母親としてではなく
完全に一匹の牝として私を見下ろしていました。



んーっ♡

いやーっ♡

いやーっ♡

おぼっ♡

おぼっ♡

んーっ♡

あっ

あっ

おっ
おっ

おっ
おっ

お互い収まりがつかなくなった私たちは
店を閉め、服を脱ぎ捨て
獣のような交尾をしました。

腕を絡めお互いの唾液を交換し
何度も何度も接吻を交わします。

久しぶりに味わうチンポに私は
自分から腰を押しつけ子宮に精子が届くよう
セイの事を離しませんでした。



セイとの肉体関係を持ったことで
今まで抑えてたもう一人の私が
目覚めてしまいました。
お店に通う近所の子達に
私のいやらしい身体をタツプリ見せつけます。
男の子達が我慢できなくなり
一人、二人と私のおっぱいやオマンコに
手を伸ばし始めました……

ほら、お前らも
おばさんのおっぱいや
マンコ触らせてもらえよ
遠慮する必要なんて
全くないんだぜ



すごい…こんなに
おちんちんイッパイ…
どれから食べようか
迷っちゃうわね…♡

すっぴん♡

すっぴん

すっぴん

すっぴん

すっぴん

彼らの可愛いおちんちんを手にとり
ぶっくらと勃起した乳首に
擦り付けてあげます。

我慢汁が溢れそうでしたので
フェラをしてあげたら身体を震わせ
一瞬で射精してしまいました。

残った精子は乳首に
塗ってもらいました。
若いザーメンの強烈な臭いが
乳首に染み付きそうです…♡

あっ♡

ビクッ

あん♡

セイやあの子達では飽き足らず
私は息子の友人にも
手をだしてしまいました。

レイジ君は今までの子とは違い
まるで女の扱いに
手馴れているようでした…

慣れた手つきで愛撫をし
何度も絶頂を迎えたあとに
優しくキスもしてくれました…

んっ

んっ



はあ：…んんっ♡
お願い：…レイジ君
もうわたしいい：…
我慢できないの：…♡
頭おかしくなっちゃう

今日は彼のために
エッチな下着を用意しました。
息子のセイだったら
すぐにも押し倒しそうなものでしたが
レイジ君はたっぷり時間を掛け
私を焦らしてきます

私のほうが我慢の限界になり
お尻を彼のオチンチンに
押し付けるのですが
決して入れようとしません…。

この子…女の堕とし方を
しっかりと知ってます…♡

リン子さん盛り過ぎ♡
いい年したおばさんが
こんな下着着て息子の友人を
誘って恥ずかしくないの？

たっん

たっん

たっん

♡

おんっ

んっ

おんっ

すこ...いい♡
リン子のオマンコもっとお♡
こんなの初めてなのっ
あの人のなんかより全然いい

あああああ♡
おちんぽお♡ちんぽ
チンポ汁おまんこに
全部飲ませてえ♡

んっ

んっ

んっ

レイジ君の
種付けチンポっ♡
一滴残らず子宮に
注いで欲しいのお♡

セイにレイジ君との関係を知られてしまい二人が喧嘩になってしまいましたと一緒にセックスするということでは何とか落ち着きました

最初は仲直りしたと
思ったのですが
どちらが先にするかで
また口論になり 仕方なく
お尻とオマンコ両方で
エッチすることになりました

ぱんぱん
ぱんぱん
ぱんぱん

おん

おん



おはよう

すご：いっ♡
二人のおちんちんが
お腹の中で暴れてっ
ゴリゴリって響いてる♡

ゴリゴリ♡

ゴリゴリ♡

おはよう

ほら、リン子さん
セイと俺のチンコ
どっちが気持ちいいか
教えてよ：♡

あっ♡どっちもっ♡
どっちのおちんちんも
気持ち良くて好き♡
両方大好きなのっ♡

あれから私達は毎日のように
膣内出しセックスを続け
とうとう妊娠してしまいました…

乳房は以前にも増して
大きくなりその形は
どんどんいやらしくなっていました。

しかし二人はそんなことはお構いなしに
大きくなったおっぱいを
赤ん坊のように吸い続けます。

もう…二人が私の
おっぱい乱暴に弄るから…
どんどん大きく
なっちゃってるわよお…

リン子さんまた
おっぱい大きくなった？
俺とセイでここに詰まった
ミルク全部飲み干して
あげるからな

おっぱい♡

ワクワク

キコ



いつもお店に来てくれる
常連の子達の様子が
今日はいつもと違いました。

どうやらあの事がこの子達に
知られてしまったようです。

「一度だけでいいから」

そう言われ私は断りきれず

彼らになすがまま

胸をさらけだし

パンツを脱がされてしまいます。

ぐん

ぐん

あれー
リン子さん何で
パンツ履いてない
のかなー？

ドキ

ドキ

あん…だって
これはアナタ達が
そうしろって

人のせいにしてんじゃねーよ
おばさんw
俺らのチンコが欲しくて
オマンコ濡らして
待ってたんだろ？

彼らの要望に応え
アニメのキャラクターの
コスプレをしました。
興奮した彼らはその場で
制服の胸元をあけ
スカートを捲り上げました。
私もいつよりも興奮しています…

身体中を愛撫され続け
思わず床に倒れこんだ私に
二人は勃起したおちんちんを
目の前に差し出します。

いつの間にかにスカートは
剥ぎ取られ、パンストも
いやらしく破かれてました。

ハァ
ハァ

完全にエロスイッチ
が入ったなw
チンコ見ただけで
牝の顔になってるぜ

ハァ
ハァ
ハァ





はあ♡

おっぱいおっぱい

とっ♡

はあ♡

きゅん

「お婆さん 俺と舌からめてキスしようぜ」

「え…キスは…ダメよおそんな事したらオバサン…本気になっちゃうわよ」

「俺は本気だぜ？」

「そういうと彼は強引に私の唇を奪いました」

「んん…ちゅあん…もう…ダメって言ったのに…」



んぶっ

ちゅるっ

性欲盛んなお年頃の彼らに
私の身体はその捌け口でしたが
ありませんでした

口もおっぱいも おまんこも
乱暴に翫られ

私も彼らの男の臭いに
脳が焼き焦げるような感覚に陥り
気付けばチンポを必死に
しゃぶりついていました

んっ

気付いたら彼らの手によって
私は生まれた時の姿を晒してました

二人にたっぷり膣内出しされた
オマンコをかき回され
ザーメンと私の愛液、唾液の
混ざったおちんちんの臭いに
頭の中身真っ白でした。

このあと二人は家上がりこみ
セイが帰ってくるまで
セックスし続けました。

ほらおばさん
自分ばかり気持ちよくな
ってないで口を
ちゃんと動かしてよ

あん：
だってオマンコ
いっぱい弄られて
気持ちいいのぉ

おまんこ

おまんこ
おまんこ
おまんこ



ん…ちゅ♥
全部飲んであげるから
いっぱい出してね…

ちゅちゅ

ちゅちゅ

ちゅちゅ

ちゅちゅ

あれから二人は毎日のように
私の家に入り浸るようになりました。

彼らからプレゼントされた
ランジェリーを着せられ
オマンコとお口にチンポを咥え込み
何度も何度も射精されました。

今ではプラモデルなんか
興味の無い、遊んでばかりいそうな
悪そうな子も噂を聞きつけ
やってくるようになりました。

すこ…い♥
またおちんちん
大きくなって…るう

町を歩いていけると声を掛けられ
無理矢理彼らの家に連れ込まれ
朝までセックスしました。
写真も動画も撮られ
仲間内で回すらしいです…

わん

リン子さん相変わらず
エロい身体してんなー
今からビデオ回すから
笑顔でねー♥

わん

わん

わん

大人のお客さんの間でも
私の事が噂になってしまい
無理矢理家に取りこまれ
押し倒されてしまいました

あの子達とは比べ物にならない
大きさのモノを摩りつけられ
私の意志とは関係なく
身体が反応してしまいます

や...めてっ
こんなダメ...!

あんなガキ共じゃ
味わえない本当のチンポ
の味を教えてやるよ

おいおい
オマンコひくひくさせて
ナニ言ってるんだ
素直になれよ♥

ぐにゅ

ぐにゅ

ハア

ハア

おっ！
おほおっ！

ドク
ドク
ドク

縄で身体を縛られた私は
今までのセックスとは全く違う
快感を叩き込まれた。

油の乗った中年男性の
むせかえるほどの雄の臭い
そして激しいセックスに
何度もイカされました。

寝室に運ばれた私は
チンポに突かれるたび
甘い声を漏らし
足と腕を彼の身体に回し
しがみついていた。

おっ！
おっ！

ドク
ドク

ドク
ドク



グフフ：すっかりこのチンポにピッタリなマンコになりおったな♡ あんなガキ共に使わずにはもったいないわい

あっ♡

あっ♡

男は私のお腹の肉を挿みながら極太のチンポを容赦なく出し入れます。

カリの部分でオマンコの中身を引きずり出すような…気を抜くと失神してしまっほどのセックスです…

はぁん

グフフ

グフフ



「リン子はアナタ専用の
牝豚マンコです♡」

その硬くてぶっといオチンポ様で
私の危険日マンコにっばい
射精なさってください♡

早くちんぽっ♡ちんぽくください♡
もうあの子達のチンポじゃ
全然満足できないんです♡」

「言われなくてもとことん
俺のチンコ味わってもらっさ
今日は足腰立てなくなるまで
ぶち犯してやるぞお」

トロキ

ドキドキ



今ではすっかりおじ様たちのおちんちんに夢中です
このあと二人は交代しながら私の身体中がザーメンでドロドロになるまでセックスし続けました

ほらほら
こっちもちゃんと
しごいてくれよ

ちゃんと味わえよ
これが終わったら
寝ずに朝まで種付け
してやるからな
覚悟しとけよリン子

ん：ちゆ
ふあい

いんちん

いんちん

豚ス+

リン子

キホ大女子

ピッチまんに!

正まん

正
あなる

